

第277回原医研セミナー

第41回放射線災害・医科学研究 機構・拠点研究推進ミーティング

以下のとおり開催いたしますので、ご参加くださいますよう、ご案内いたします。

開催日時：2026年2月24日（火）17時30分～

開催方法：オンライン

接続先：Zoom(ミーティング)ID：890 6191 5257

Zoom URL：

<https://us02web.zoom.us/j/89061915257?pwd=Uk93L2JWWDJ3dnFkYmkvSjFGN21DZz09>

Zoom パスワード：538773（上記 URL をクリックして参加する場合は入力不要です）

タイトル：Evaluation of the "Mimamoru Health App" for radiation protection and health promotion, through a pilot study with Fukushima residents

発表者：福島県立医科大学 保健科学部 診療放射線科学科
准教授 大葉 隆 先生

本研究は、EU 主導による「Nuclear Emergency Situations - Improvement of Medical And Health Surveillance - Stakeholder INvolvement in Generating Science (SHAMISEN-SINGS)」プロジェクトの海外共同研究を参照することで、福島第一原子力発電所事故における自治体住民の帰還を保健医療従事者が支援するために、支援デジタルツールの開発を進めることを目的としている。ここから、特定地域の自治体住民と保健医療従事者の双方がこのデジタルツールを活用することにより、円滑で効果的な支援を可能にする事を目指している。本研究の開発したアプリは、「みまもる健康アプリ」として、放射線記録と健康記録の2つの項目をハイブリットした日本初のアプリであった。本研究は、2021年度から2023年度に福島県内の住民を対象にこのアプリの試験運用を実施した。また、2024年度、2025年度には、試験運用の結果を受けて、アプリを改修してユーザビリティの向上を目指した。本セミナーでは、アプリの試験運用における結果とアプリの改修点を報告する。本研究は、福島県立医科大学の一般倫理委員会より承認を受けた（一般2022-069）。

タイトル：福島の復興に資する教育研究活動の推進

発表者：長崎大学原爆後障害医療研究所・災害復興科学分野
教授 高村 昇 先生

Department of Disaster Resilience and Science, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University has established reconstruction promotion bases in Kawauchi Village, Tomioka Town, Okuma Town, and Futaba Town in Fukushima Prefecture, where three faculty members are stationed to carry out risk communication based on radiation exposure doses of residents, while also collaborating with domestic and international institutions to develop educational and research projects. In this seminar, we are going to introduce the research activities in Fukushima, including recent topics such as risk perceptions about re-usage of decontaminated soils.